

イー・アクセス株式会社 (9427)

2012年3月期第1四半期決算説明資料
(2011年4月 ~ 2011年6月)



2011年8月4日

I. 2012年3月期第1四半期決算ハイライト

Page 3

II. オペレーションの状況

Page 10

I. 2012年3月期第1四半期決算ハイライト

Page 3

II. オペレーションの状況

Page 10

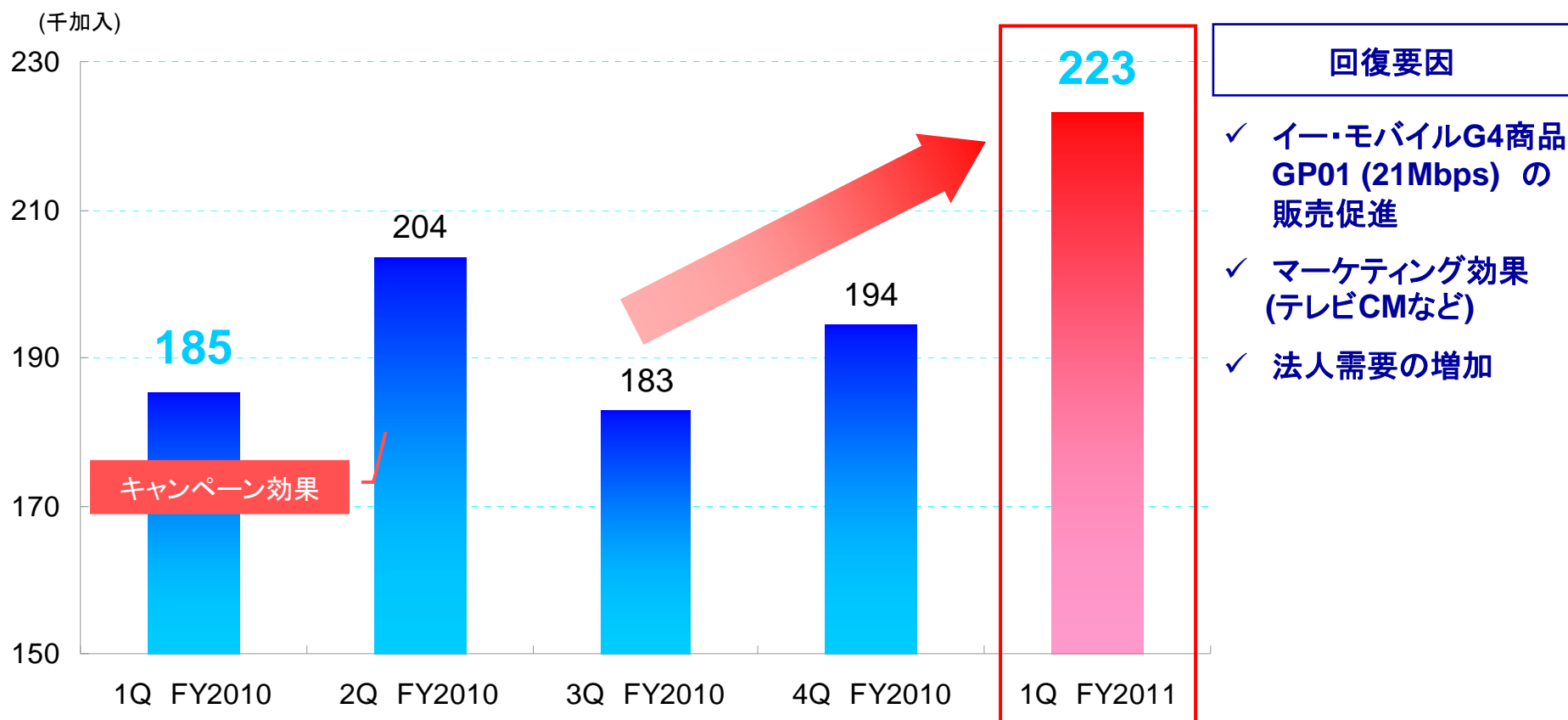
■ モバイル純増加加入者数は想定を上回る進捗

■ 第1四半期における過去最高利益

モバイル純増数は回復基調

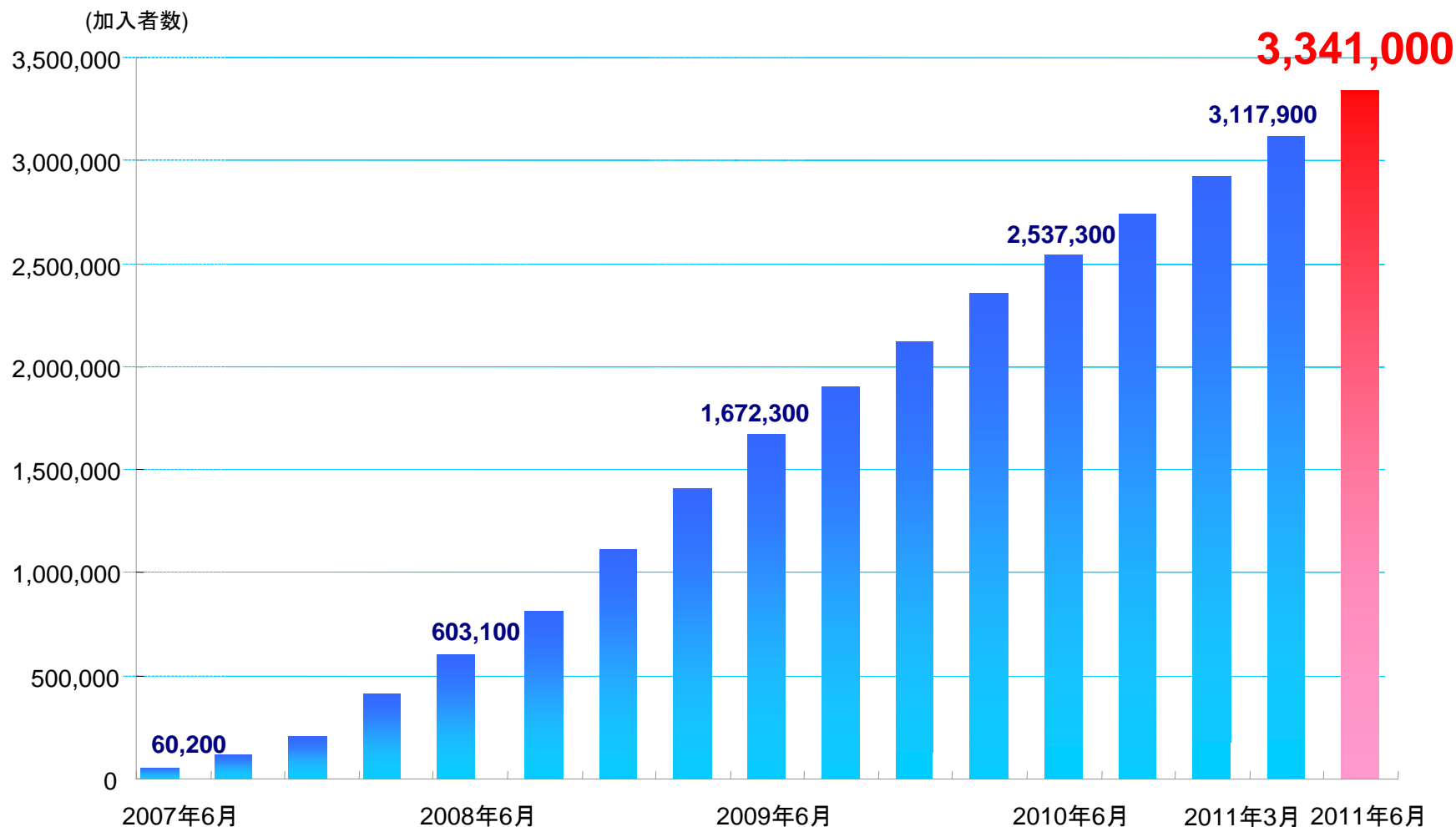
- 2012年3月期第1四半期のモバイル純増数は、前年同期比+20%の223,000加入
- 四半期純増数は回復基調

モバイル加入者純増数



モバイル累計加入者数の推移

■ 累計加入者数は、2011年6月末で前年同期比+32%の3,341,000加入



2012年3月期第1四半期業績

- 第1四半期における過去最高利益(EBITDA/営業利益/当期純利益)
- 無線事業のEBITDAは、前年同期比+16%、固定事業(ADSL)の減益を相殺
- EBITDAマージンは前年同期比でプラス、当期純利益は前年同期比+70%

(億円)	2011年3月期 第1四半期 *	2012年3月期 第1四半期	前年同期比	通期予想	進捗率
収入	490	476	-3%	2,000	24%
無線事業	340	355	+4%	1,580	22%
固定事業	150	121	-19%	420	29%
EBITDA	153	157	+3%	670	23%
無線事業	91	105	+16%	513	20%
固定事業	62	52	-16%	157	33%
EBITDA マージン	31%	33%	+2pts	34%	-
無線事業	27%	30%	+3pts	32%	-
固定事業	41%	43%	+2pts	37%	-
営業利益	66	65	-1%	300	22%
経常利益	37	32	-13%	170	19%
当期純利益	19	32	+70%	170	19%
設備投資額	88	80	-8%	390	21%

* 2011年3月期第1四半期は試算ベースの数値

キャッシュ・フローの状況

■ 四半期純フリー・キャッシュ・フローは過去最高値を更新

	2011年3月期			2012年3月期
	第2四半期 (2010年7～9月)	第3四半期 (2010年10～12月)	第4四半期 (2011年1～3月)	第1四半期 (2011年4～6月)
(億円)				
EBITDA	149	164	179	157
設備投資額	-61	- 61	- 205	-80
営業フリーキャッシュフロー	88	103	-26	77
利息	-19	-24	-18	-20
税金 (法人税)	0	-25	0	2
配当金 *	-27	-8	-7	-7
純フリーキャッシュフロー	43	46	-51	52

* 2012年3月期は1株当たり200円の四半期配当を実施予定 (2011年3月期第2四半期より継続)

バランスシートの状況

- 純有利子負債/EBITDA比率(レバレッジ比率)は前四半期末と同水準だが、今後改善の見込

	2011年3月期			2012年3月期
	2010年9月	2010年12月	2011年3月	2011年6月
(億円)				
現金及び預金	740	650	471	381
有利子負債	2,767	2,651	2,497	2,427
純有利子負債	2,027	2,001	2,026	2,046
純資産	698	723	730	743
総資産	3,719	3,646	3,530	3,402
純有利子負債/純資産比率	2.91	2.77	2.77	2.75
EBITDA (直近12ヶ月)	588	607	645	649
純有利子負債/EBITDA比率	3.45	3.30	3.14	3.15

I. 2012年3月期第1四半期決算ハイライト

Page 3

II. オペレーションの状況

Page 10

- イー・モバイルG4:
高速通信端末(42Mbps)のラインナップを強化
- スマートフォン:
テザリングと通話定額キャンペーンに注力
- FMCサービス:
提携事業者の拡大と加入者ベースの拡大

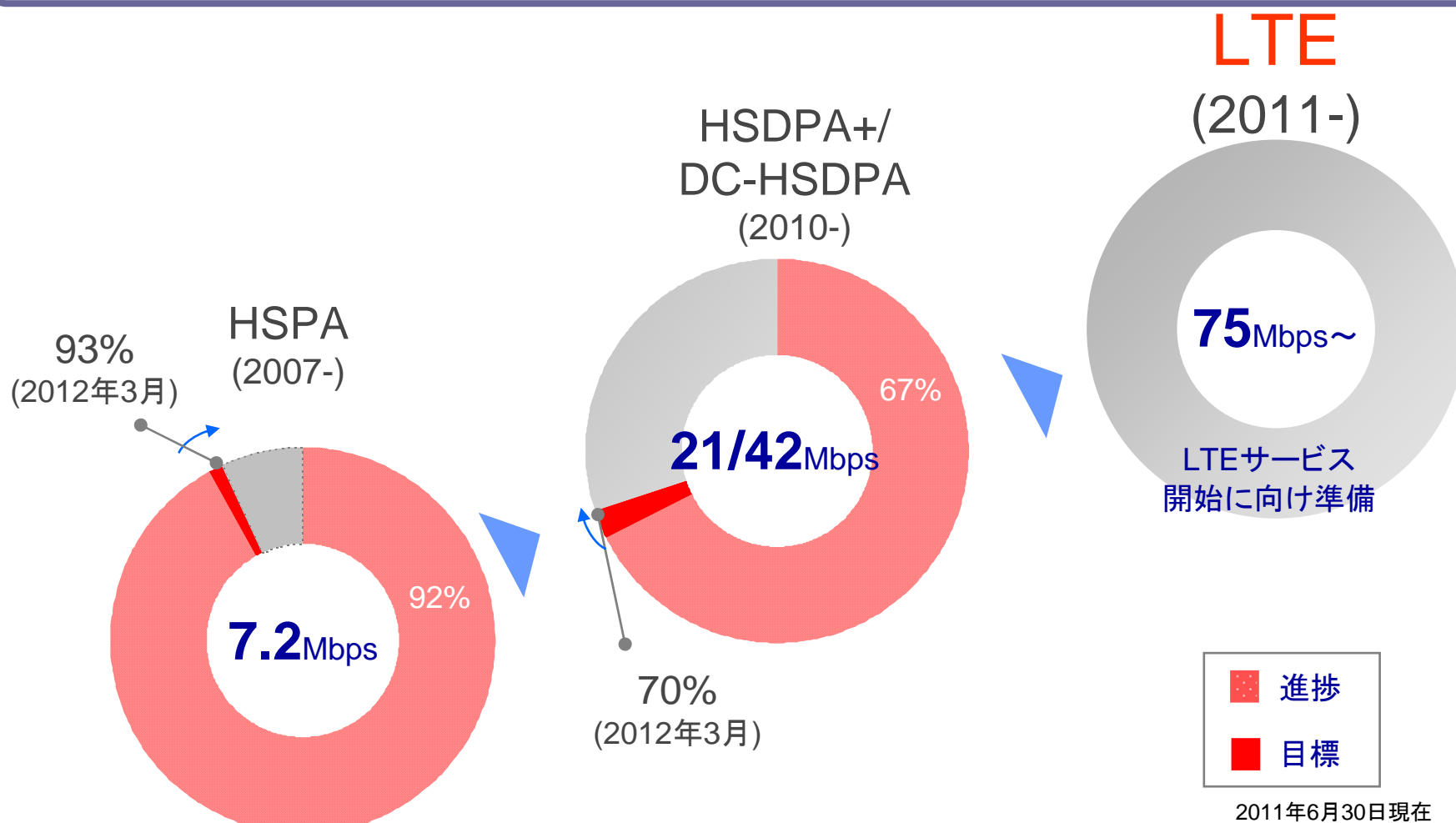
主要なオペレーション指標

■ 通期の業績予想の修正はなし

		実績					通期予想	
		2011年3月期 第1四半期	2011年3月期 第2四半期	2011年3月期 第3四半期	2011年3月期 第4四半期	2012年3月期 第1四半期	2012年3月期	
モバイル	累計契約数	2,537,300	2,740,800	2,923,600	3,117,900	3,341,000	3,850,000	➔
	ARPU (円)	3,400	3,250	3,100	2,950	2,860	2,900	➡
	月次解約率	1.37%	1.29%	1.40%	1.45%	1.50%	1.45%	➔
	1人あたり 獲得費用 (円)	25,000	25,000	25,000	25,000	20,000	22,000	➡
	回収期間 (月)	7.4	7.7	8.1	8.5	6.8	7.6	➔
ADSL	累計契約数	2,204,000	2,118,000	2,023,000	1,928,000	1,839,000	1,600,000	—
	ARPU (円)	1,973	1,966	1,953	1,949	2,009	1,900	—
	月次解約率	2.11%	1.91%	2.03%	2.08%	2.04%	2.10%	—
	1人あたり 獲得費用 (円)	8,000	8,000	7,000	7,000	7,500	8,000	—
	回収期間 (月)	4.1	4.1	3.6	3.6	3.7	4.2	—

EMOBILE G4 ネットワークの拡大

- 2011年6月末のエリアカバー率は、42Mbpsサービスで44.6%、21Mbpsサービスで67.4%、~7.2Mbpsサービスで92.1%





Pocket WiFi (GP02)

PocketWiFi



ポケットワイファイシリーズ 最速42Mbps対応

- EMOBILE G4対応、DC-HSDPA規格採用
- 下り最大42Mbps、上り最大5.8Mbps対応
- 連続通信時間約4.5時間
連続待機時間約140時間
- 約 110g

月額通信料: **3,880円**

DC-HSDPA 42 Mbps	HSUPA 5.8 Mbps	連続通信 約 4.5 時間	microSD™ microSDHC™ カードスロット
-------------------------------	-----------------------------	----------------------------	-----------------------------------

日本初 Android 3.2搭載 タブレット端末



価格未定

- さくさく動く、デュアルコアNVIDIATegra™2
- 片手で持てる7インチワイドTFT液晶
- タブレット最軽量クラスの389g
- リア500万画素、フロント200万画素カメラ
- 「AQUOSリモート」で、AQUOSやAQUOSブルーレイを操作可能
- Officeアプリケーションを活用できる
「Documents To Go」を搭載
- 豊富なアプリケーションをプリインストール

Android™ 3.2	重さ 389 グラム	約 500 万画素	約 7 インチ WSVGA	microSD™ microSDHC™ カードスロット	Wi-Fi
------------------------	-------------------------	------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------

Pocket WiFi



GALAPAGOS

7時間スタミナバッテリー
コンビ



PocketWiFi(GP01)
大容量電池パック

最速42Mbps コンビ



Pocket WiFi
(GP02)

軽量104gスマートフォン
コンビ



Pocket WiFi S II
(S41HW)

国内初、テンキー付ストレート型スマートフォン



- 高精細3インチWVGA液晶
- テンキーによるケータイ感覚の文字入力
- 片手で使えるタッチ&テンキー操作
- ワンキーでテザリング機能を起動
- 赤外線通信ポート搭載

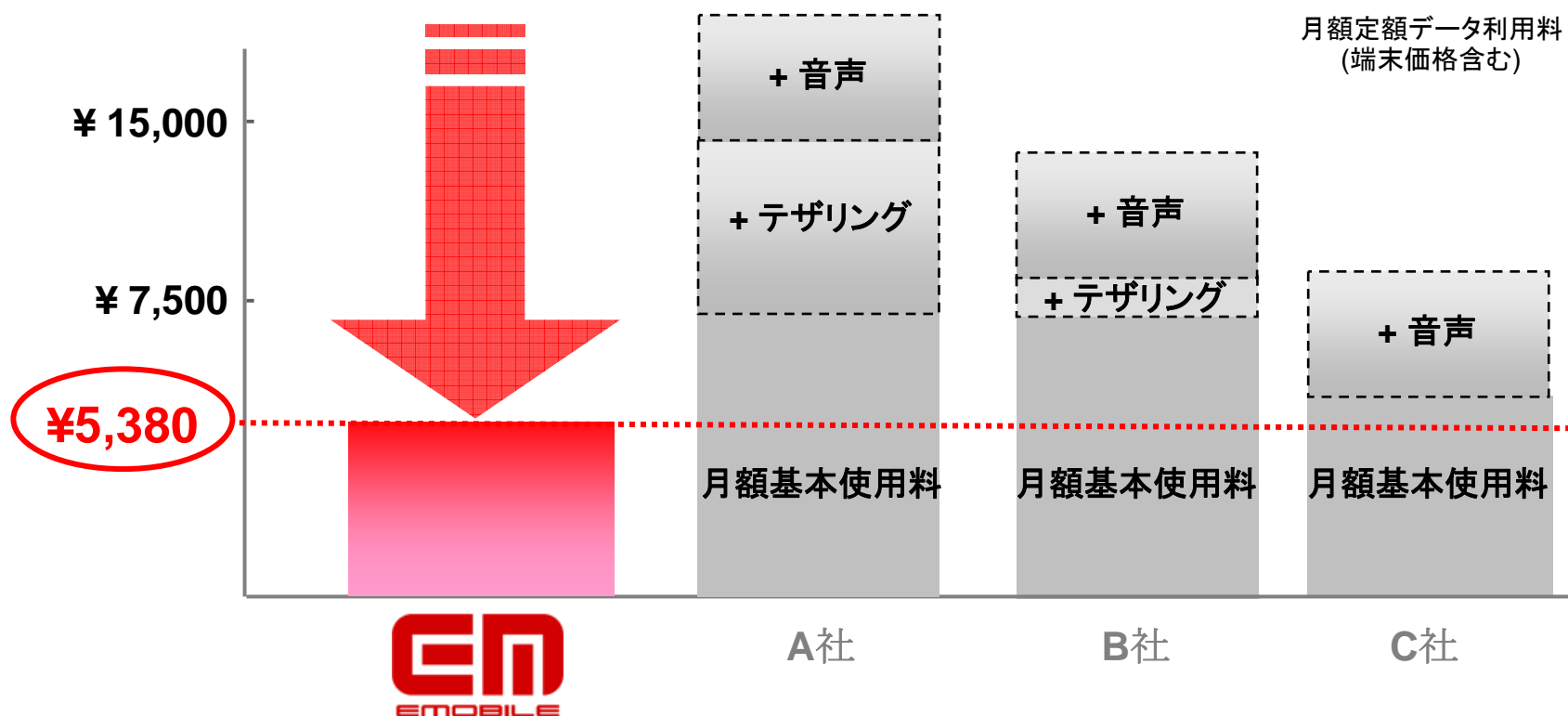
HSDPA
7.2
Mbps

HSUPA
5.8
Mbps

Android™
2.3

スマートフォン市場におけるプライス・リーダー

- スマートフォン市場において競争力のある料金プランを提供
- イー・モバイルのテザリング、通話定額は他社との強力な差別化要素

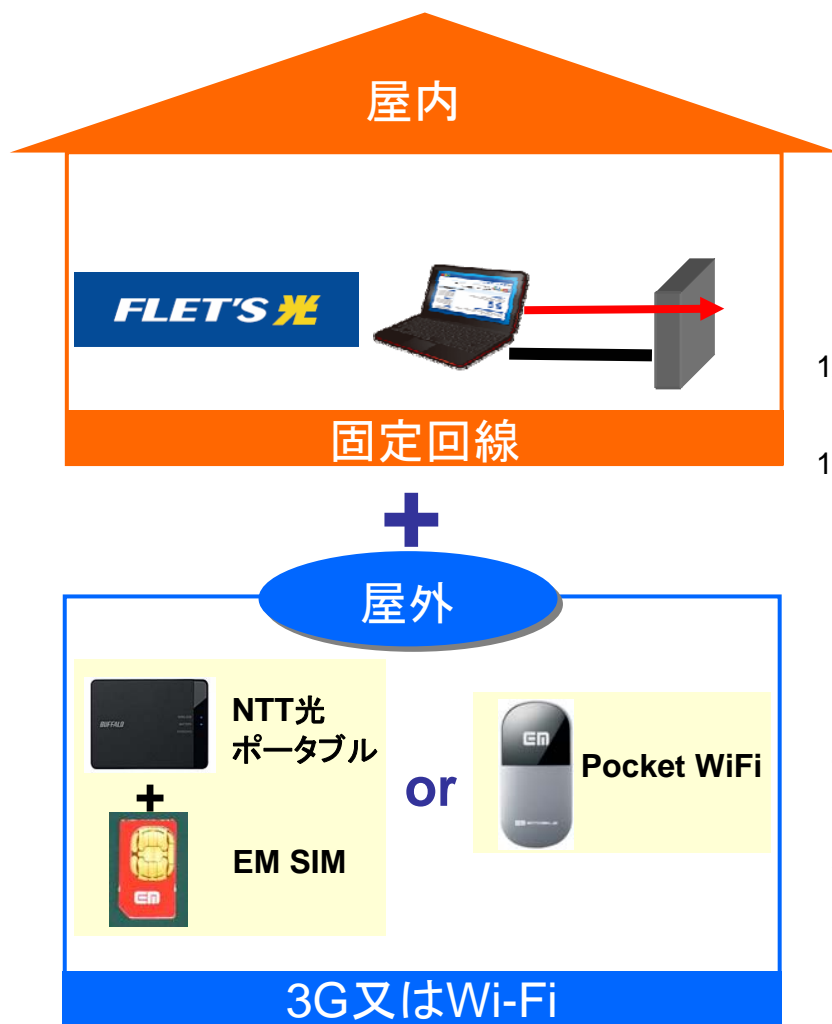


テザリング	¥ 0	追加料金で使用可能	追加料金で使用可能	利用不可
通話定額	¥ 0 ^{*1}	利用不可	利用不可	利用不可

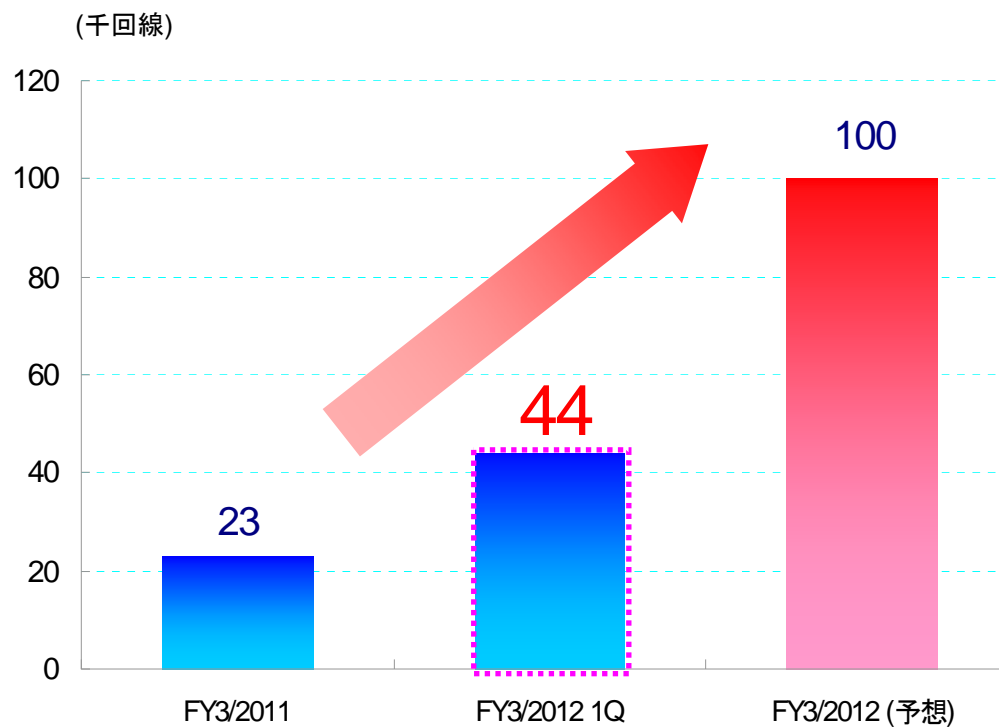
*1: キャンペーン価格

FMCサービス

- FMCサービスの加入者数は順調に増加
- 8月1日よりケイ・オプティコム社とのサービス提携開始



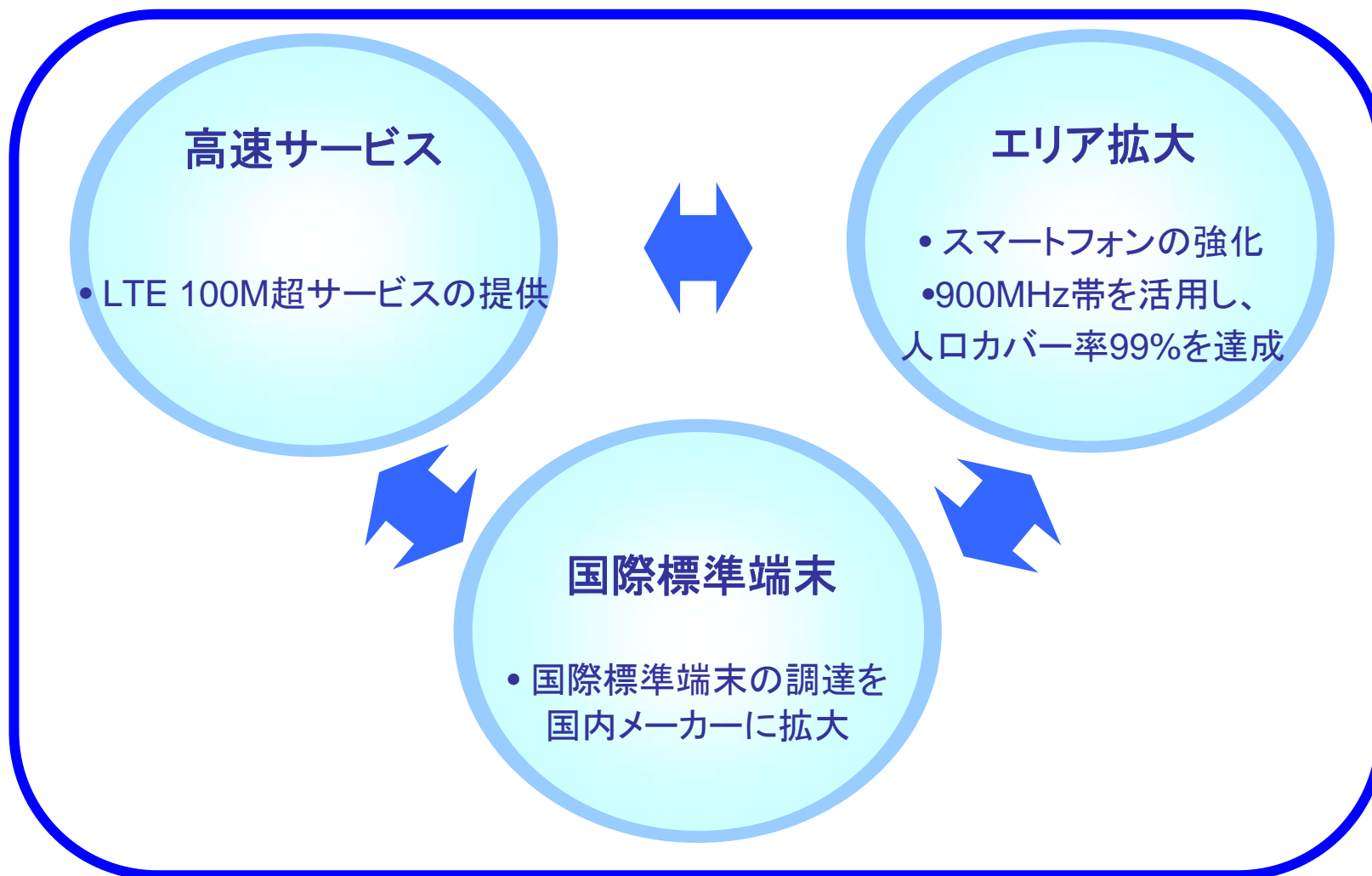
2011年3月期第1四半期実績（累計ベース）



■ 900MHz帯の割り当てに関する当社スタンス

900MHz帯域の割当により競争力を更に強化

- 900MHzと1.7GHzを活用することで、更なる高速サービスの実現、エリア拡大、グローバル端末のタイムリーな調達が可能となる



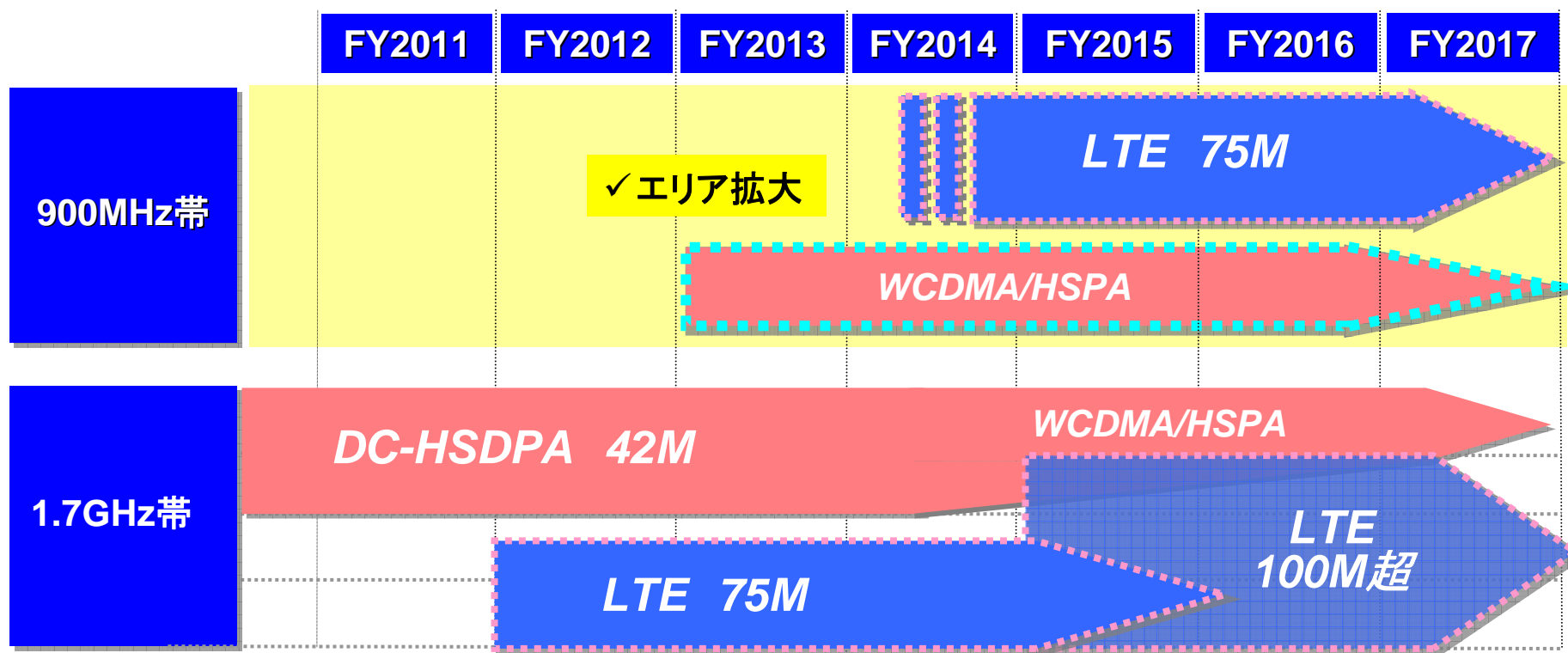
現状の周波数比較

- 既存3事業者と同等な周波数環境が望ましい

	～2004	2005～	2012 (予定)
A社 140MHz	<div style="border: 1px dashed red; padding: 2px;"> プレミアムバンド 800MHz (30MHz) </div> <div style="border: 1px dashed red; padding: 2px; margin-left: 10px;"> IMTコアバンド 2GHz (40MHz) </div>	1.5GHz (30MHz) 1.7GHz (40MHz)	
B社 120MHz	800MHz (30MHz)	1.5GHz 20MHz	2.5GHz (30MHz) グループ事業戦略の強化 +30MHz?
C社 104MHz		1.5GHz 20MHz	2.5GHz (30MHz) グループ事業戦略の強化 1.9GHz (14MHz) PHS
EMOBILE 30MHz ⇒ 60MHz	プレミアムバンドも IMTコアバンドも有していない		1.7GHz (30MHz) 900MHz (30MHz) 準IMTコアバンド

ネットワーク構築計画

- LTE 100M超のサービスを全国規模で早期に実現



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これできない場合があります。